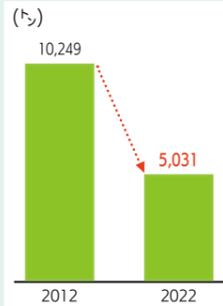




バイオマスセンタールフランは2018年12月から本格稼働し、5周年を迎えました。市民の皆さんの生ごみ分別への協力や液肥の利用のおかげで、ルフランは順調に運転を続けています。焼却ごみの量が半減するなど、さまざまな良い効果も生まれています。今回はその効果・実績を紹介し、今後も引き続き、生ごみ分別へのご理解・ご協力をお願いします。

## 焼却ごみが半減

生ごみ分別などにより、市の焼却ごみは10年間で50%以上減少しました。新焼却施設の建設負担金が削減されたほか、埋立処分場の延命化にもつながっています。



## 液肥で環境に優しい農業の実現

生ごみ・し尿由来のバイオ液肥「みのるん」は5年間で5万5千トン以上生産され、累計で1,288ヘクタールの農地に還元されました。液肥で出来た特別栽培米「かんきょうにやさしいおいしいお米」も販売中です。



## メタン発酵発電

ルフランでは生ごみとし尿などから発電をしています。5年間で約2,021メガワットの電力を生み出し、3,600万円以上の電気代が節約されました。地球温暖化の防止にも貢献しています。



## 世界から注目されるみやま市

みやま市の取り組みを学ぼうと国内外から視察者がルフランを訪れています。その数は5年間で417団体5,422人に上ります。

### 視察に来た国々

韓国、中国、モンゴル、タイ、マレーシア、インドネシア、ベトナム、インド、アルバニア、カザフスタン、エジプト、パナマなど



## 電気自動車 (EV) 充電スポットを設置しています

ゼロカーボンシティ実現のため、民間企業と連携して、現在市内の公共施設3か所に電気自動車 (EV) の充電スポットを設置しています。

- 設置場所
- ルフラン (校舎東側)
  - 市役所本庁 (西側)
  - 総合市民センター (南側)



▲ ルフランの充電スポット

自然環境と共存する社会を考える

## 清水山と私たちの暮らし



11月16日、東山中学校で「清水山と私たちの暮らし」をテーマに、全校生徒を対象にワンヘルス授業が行われました。授業では、竹の生態と私たちの暮らしの関わりについて学びました。

竹を使った生活道具や春の味覚であるタケノコなど、竹は生活を豊かにする恵みをもたらしてくれました。また、女山史跡森林公園の遊歩道沿いにある竹林は、「神宿る竹林」としてオルレコースの見どころの一つとなっており、壮大な姿が見る者を圧倒する人気のスポットとなっています。

しかし、竹は成長が早いので、放っておくと広がり続けます。適正に管理されていないと、生い茂った竹林が日光を遮り、他の木々が成長することができません。また根が浅いため、土砂災害の危険にもつながります。



に、竹林の適正管理と人々の暮らしが密接に結びついていることを学びました。3年生の平嶋悠希さんは、「竹の生命力に驚きました。ワンヘルスの人間、動物、自然の共生を目指すことは簡単ではないと感じました。これからはワンヘルスをもっと意識して生活したいと思います。」と感想を述べました。

## #みやまワンヘルス

ワンヘルス宣言をされている事業者をご紹介します。一緒にワンヘルスの輪を広げていきましょう!

### 江の浦海苔本舗

(高田町徳島)



### ワンヘルス宣言事業者登録のきっかけは

有明海の美味しい海苔を食卓に届けるために、海苔漁師から販売の仕事をするようになりました。地元の海の幸を届ける仕事も、ワンヘルスに通じると伺いました。

### ワンヘルスの取り組みを教えてください

「安ければいい」のではなく、本当の味を知ってもらうため、地元の漁師が心を込めて作った海苔を、地元で適正な値段で販売しています。そのために、有明海や県産海苔の魅力を知っていただく活動をしています。

### 今後、どのように推進していきますか

若い人への食育が大事だと思います。そのために、海苔ができる工程や味付け、調理などを体験できるワークショップを考えています。体験設備を整え、地元を盛り上げる一助になりたいです。

### 三和屋

(瀬高町下庄)



### ワンヘルス宣言事業者登録のきっかけは

SDGsの理念や環境活動に関心がありました。ワンヘルスセンターの誘致をきっかけに、人と動物と環境の健康を守る、という理念が広がることを期待しています。

### ワンヘルスの取り組みを教えてください

最近では物を修理してくれるお店が少なくなっているので、物を売るだけでなく、長く大事に使って頂くために、修理ができるお店であることを大事にしています。また、犬の散歩をしながらゴミ拾いをしています。みんなで意識すれば、もっとまちがきれいになると思います。

### 今後、どのように推進していきますか

まちをきれいにしたり、動物へ愛情を注ぐことは人への慈しみにつながると思います。マナー、信頼、癒しなど情操が育まれる、優しいまちづくりをしていきたいです。